

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2018/12/31	2019/6/28	2019/7/26	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	20,014.77	21,275.92	21,658.15	24,448.07	2018/10/2	15,921.04	2016/8/4
NYダウ	ドル	23,327.46	26,599.96	27,192.45	27,398.68	2019/7/16	17,883.56	2016/11/4
円/ドル	円	109.69	107.85	108.68	118.66	2016/12/15	99.54	2016/8/16

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

~ 米中貿易協議の進展期待や半導体市況の改善期待などから、上昇 ~

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+191.16円(+0.89%)、TOPIXが+7.56ポイント(+0.48%)となり、米中貿易協議の進展期待や半導体市況の改善期待などから、上昇しました。業種別(東証33業種)でみると、海運業、金属製品、情報・通信業などの15業種が上昇する一方、食料品、証券・商品先物取引業、鉄鋼などの18業種が下落しました。週明けの22日は、米早期利下げ期待が後退したことやイランや香港などで地政学リスクが高まったことなどから、下落して始まりました。その後は、①トランプ米大統領が米ハイテク企業の経営幹部との会談でファーウェイ向け販売許可を適宜決定することに同意したこと、②7月30・31日に北京で米中間僚級の貿易協議の開催が公表され米中貿易協議の進展期待が高まったこと、③米国下院で債務上限引き上げと歳出増で与野党が合意したこと、④米半導体大手テキサス・インスツルメンツの決算が事前予想を上回り半導体市況の改善期待が高まったことなどから、上昇しました。週末26日は、前日の米国株が下落したことや、中国関連企業中心に市場予想を下回る決算発表が相次いだことなどを背景に下落して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	前回
7月29日	Mon	日本	日本銀行、政策委員会・金融政策決定会合(30日まで) 日本銀行「経済・物価情勢の展望(展望レポート)」	
7月30日	Tue	日本	失業率	6月 2.4%
		米国	鉱工業生産(前月比) FOMC(米連邦公開市場委員会)31日まで S&Pケース・シラー住宅価格指数(前月比・季調済)	6月 2.0%
7月31日	Wed	米国	消費者信頼感指数 FOMC声明発表・パウエルFRB(米連邦準備理事会)議長記者会見	5月 0.00%
		中国	ADP雇用統計	7月 121.9
8月1日	Thu	中国	製造業PMI(購買担当者景気指数)	7月 102千人
		日本	10年利付国債入札	7月 49.4
8月2日	Fri	米国	ISM製造業景気指数	7月 51.7
		中国	財新中国製造業PMI(購買担当者景気指数)	7月 49.4
		米国	非農業部門雇用者数変化	7月 224千人
		米国	失業率	7月 3.7%
			貿易収支	6月 -555億円

決算発表予定 他	国・地域	決算発表	決算発表
	日本	決算発表:	決算発表: 7/29 アコム、オリックス、ファナック、塩野義製薬、大阪ガス、コマツ、日立製作所、東京ガス 7/30 オリエンタルランド、ソニー、ヤクルト本社、三井住友フィナンシャルグループ、三菱電機、任天堂、日本取引所グループ、東日本旅客鉄道、ANAホールディングス、2020 7/31 みずほフィナンシャルグループ、コセー、デンソー、パナソニック、ヤマホールドディングス、リコー、京成電鉄、住友電気工業、JT、日本通運、NEC、村田製作所、東京電力ホールディングス、花王、野村ホールディングス、8/1 コナミホールディングス、シャープ、マツダ、ローソン、三菱商事、日本製鉄、王子ホールディングス、KDDI、アサヒグループホールディングス 8/2 NTTデータ、トヨタ自動車、ヤフー、京セラ、伊藤忠商事、住友商事、日産化学、旭化成、ホンダ、阪急阪神ホールディングス
	海外	決算発表:	決算発表: 7/30 アップル、プロクター・アンド・ギャンブル、ファイザー、アドバンスト・マイクロ・デバイス、マスターカード、ファーウェイ 7/31 クレディ・アグリコル、メルセデス・ベンツ、クアルコム、サムスン電子、ゼネラル・エレクトリック、フィット・クライスラー・オートモービルズ 8/1 バークレイズ、INGグループ、シーメンス、ゼネラル・モーターズ、ペライゾン・コミュニケーションズ、ロイヤル・ダッチ・シェル、BMW 8/2 クレディ・アグリコル、エクソンモービル 8/3 パークシャー・ハサウェイ

* 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

~ 米国の利下げ継続姿勢などを背景に緩やかに上昇する展開 ~

今週の日本株市場は、主要企業の決算発表が本格化する中、外需関連企業を中心に業績予想の下方修正懸念は残るものの、①29~30日に開催される日銀金融政策決定会合では金融政策の変更は行われぬものの、日銀は今後円高の進行や株価下落など市場環境が悪化する場合には追加金融緩和策を打ち出す姿勢を示す可能性が高いとみていること、②30~31日にかけて開催されるFOMCでは、市場予想通り0.25%の利下げと金融緩和姿勢の継続が示される可能性が高いとみていること、③30~31日にかけて開催される米中間僚級貿易協議では、合意に至る可能性は低いものの協議継続姿勢が示されることにより、米中貿易問題への懸念が和らぐとみていること、④PBRが1.1倍台まで低下するなどバリュエーション面から下値は限定的とみていることなどから、緩やかに上昇する展開を予想します。

その他の注目材料として、日本では30日の失業率や鉱工業生産、米国では30日の消費者信頼感指数や1日のISM製造業景気指数、2日の雇用統計、中国では31日の製造業PMI、1日の財新中国製造業PMIなどが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co., Ltd.

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

URL: <http://www.alamco.co.jp>